



みやがや

がっこうきょういくもくひょう
～学校教育目標～

じぶん み 未来をつくる子
自分を見つめ ともに

- 【知】 響き合う豊かな学びの中で 自分を見つめ ともに 探究する子
- 【徳・体】 たくましくしなやかな心と体を持ち 互いを大切にし ともに けんこうな生き方をつくる子
- 【公・開】 人やまちと関わり合いながら まちに誇りをもち ともに 新しい価値をつくり出す子

「立ち止まって考える」

副校長 横尾 健之

暖冬とはいえ、厳しい寒さが続いています。校庭で空を仰ぐと桜の枝が視界に入ってきました。つぼみを発見。膨らみはありませんが、しっかりと枝先に育っていました。もう春の準備を進めています。この先、つぼみが膨らみ、4月には淡いピンクの花となり私たちを楽しませてくれることでしょう。

年始に新聞を読み進めていると加藤登紀子さんのコラムに目が留まりました。

正月の「正」の字は、「一」と「止」を合わせたもの。一度、立ち止まって考えるのが、「正」の字だと知り、納得しました。時には時間を忘れ、時には時間に追われ、この1年間を過ごしてきました。時の流れに乗って月日を過ごしてしまうこともあります。「流れ」に乗るとは、聞こえのよい言葉でもありますが、ついつい身を委ねてしまうことがあります。気が付いたら目的地からずれた場所へ到着しそうになることもあります。

令和5年度が終わらずに来年度の話を語るのは、気が早いかもしれませんが、学校では、もう既に、次年度に向けてのスタートが切られています。昨年、保護者の方には、運動会や土曜参観のアンケート、また、中期学校経営方針の重点取組が実現できたかどうかを、子どもの姿で問う学校評価アンケートにご協力いただきました。皆様の教育活動へのご意見に感謝申し上げます。

今月に開催される学校運営協議会では、本校の授業での子どもの姿を参観していただき、地域を代表する委員の方に教育活動や学校の取組についてご意見をいただきます。

この時期、学校では地域や保護者の方の意見をもとに本校の教育活動を一度立ち止まって考え、学校教育目標「自分を見つめ ともに 未来をつくる子」の実現に向けて協議を重ねているところです。

春は遠からず来ています。令和5年度の残り2カ月の教育活動に全力を注ぐのはもちろんですが、令和6年度の未来を見据えて学校は動き始めています。子どもたちがより一層、宮谷の子どもとして輝けるように全教職員で力を尽くしていきたいと思ひます。

今後とも、本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。